

## 08 環境保全・自然保護

---

### 基本情報



【年 齢】  
54歳  
【出身地】  
北海道  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前 職】  
株式会社 サウンズグッド  
OS札幌支店  
【活動時期】  
R3.6～R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

2011年より猫の保護活動を始めた時から、この活動が仕事になれば良いと思いつけていたところ、地域おこし協力隊で犬猫愛護推進員という仕事があると聞き、これまでの経験が仕事として役に立つのであれば是非やってみたいという思いから応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

犬猫の問題は動物好きの方だけで解決すれば良いと思われがちですが、決してそうではありません。犬猫が存在している限り、犬猫問題は無くならないと思います。行政とボランティアそして地域の三協で問題を小さくすることは可能だと思います。地域おこし協力隊の経験を活かして、犬猫に関して悩んでいる方がいれば一緒に良い方法を考え、犬猫を好きな人も嫌いな人も笑顔になる活動と、不幸な犬猫を増やさない活動を今後も続けていきたいです。

### 活動内容

#### ●犬猫の適正飼育の啓発

生活環境の悪化につながる犬猫の不適正飼育の未然防止のため、適正飼育の啓発活動を実施

#### ●飼い主のいない猫の対応

猫を寄り付かせない方法の助言や付近でえさやりに対する指導や地域理解のもと避妊・去勢を実施したうえでのえさやりやトイレのしつけを行うなどの地域猫活動を推進すべくそうした手法を伝えながら普及につなげる活動を行っている。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [kankyo@city.kitami.lg.jp](mailto:kankyo@city.kitami.lg.jp) (電話番号) 0157-25-1131

### 基本情報



【年 齢】  
53歳  
【出身地】  
北海道  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前 職】  
生活協同組合コープさっぽろ  
【活動時期】  
R3.6～R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

以前より動物の救済に関わる仕事に就きたいと考えていたところ北見市の尊い命のための取り組みを知り、ぜひ北見市で活動させていただきたいと考えました。

### 今後の抱負・任期後の目標

1年目にできなかった、自身の活動のお知らせや、啓発活動にもっと力を入れて、動物との共生に理解を深められるよう取り組みたいです。

### 活動内容

#### ●犬猫の適正飼育の啓発

生活環境の悪化につながる犬猫の不適正飼育の未然防止のため、適正飼育の啓発活動を実施

#### ●飼い主のいない猫の対応

糞尿被害の訴えに対しては猫を寄り付かせない方法の助言、付近でえさやりに対する指導、地域理解のもと避妊・去勢を実施したうえでえさやりやトイレのしつけを行うなどの地域猫活動を推進すべくそうした手法を伝えながら普及につなげる活動を行っている。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [kankyo@city.kitami.lg.jp](mailto:kankyo@city.kitami.lg.jp) (電話番号) 0157-25-1131

### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
北海道岩見沢市  
【転出元】  
新潟県粟島浦村  
【前職】  
地域おこし協力隊  
【活動時期】  
R4.5～

### 協力隊に応募したきっかけ

元々出身が岩見沢市であり、学生時代にエゾシカに関する研究をしていたフィールドが現在の活動地域であったため。

そこで出会った農家や猟師の方々と交流する中で、この地域で働きたい、この地域の産業である農業を守りたい、と考えたため。

### 今後の抱負・任期後の目標

狩猟や有害鳥獣駆除に興味を持つ学生や若者に対する狩猟の技術的指導や、エゾシカの角や肉を利用した地域の新しい特産品の開発等といった、有害鳥獣の駆除から派生する地域振興活動に取り組んでいきたい。

### 活動内容

#### ●狩猟講座の開催

狩猟や有害鳥獣駆除に携わりたいと考えている学生や若者を対象に、罟猟、解体などを指導するフィールドワークや研修合宿を定期的で開催している。



#### ●ヒグマ注意喚起

地域の駐在署と連携し、キャンプ場利用者に対して、ヒグマの注意喚起を行った。残飯等を放置していると、匂いにつられたヒグマと遭遇する恐れがあるため、車内に保管する、ごみを持ち帰る等の啓発を実施した。

#### ●獣害対策従事者との意見交換

近隣自治体において活動する獣害対策従事者との意見交換を実施した。有害鳥獣駆除担い手の高齢化が進展していることもあり、特に若い獣害対策従事者同士での交流、情報交換等を積極的に行っていく。

### 連絡先

メディア等の取材連絡先】  
岩見沢市企画財政部企画室 TEL:0126-35-4834

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

- Instagram (@iwamizawa\_life)
- Instagram (@iwamizawa\_grashi)

### 基本情報



【年 齢】  
31歳  
【出身地】  
埼玉県 深谷市  
【転出元】  
茨城県 行方市  
【前 職】  
製造業  
【活動時期】  
R3.5～R6.4  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

もともと農業関係の仕事をしていたこともあり、より農業業界に貢献できる仕事をしたいと思っていました。そんなときに、沼田町で有害鳥獣駆除に関わる地域おこし協力隊員を募集しているのを知ったのがきっかけで応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

将来は他の市町村などと連携し、有害鳥獣から町民の生活を守る仕組みを作りたいです。そのためには、まず自分も現場を熟知しないといけないと思っており、技術を身に付けることや農家さんやまちの人との信頼関係を築く事を大切にしていきます。また、今いる有害鳥獣駆除の匠たちの技術継承を含め、若い世代へ広く情報や知識などを広めていく活動をしていきます。

### 活動内容

#### ●活動の概要

町民や町民の生活を守るフィールドサポーターとして活動しています。狩猟ではなく、あくまでも人や農作物に危害を加える可能性のある動物を捕獲・駆除しています。人間の生活圏と動物の生活圏を分けるのが、自分の仕事だと思っています。



#### ●一日の活動スケジュール

午前中は、町内各所に設置している罠の見回りをします。見回りをしながら罠のエサ交換をしたり、新しい罠場を探したり、設置箇所環境に応じた設置の工夫なども行なっています。また、捕獲のあった場合は、それらの処理を行っています。



午後は、主に書類作成を行っており、捕獲報告書や罠の種類ごとの分布図の作成・更新等のマッピング作業を行っています。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [jyuumin@town.numata.lg.jp](mailto:jyuumin@town.numata.lg.jp)  
(電話番号) 0164-35-2115 (職場：住民生活課)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://m.facebook.com/NumataReactivator/>



### 基本情報



【年齢】  
39歳  
【出身地】  
神奈川県藤沢市  
【転出元】  
神奈川県藤沢市  
【前職】  
自然環境保全行政  
【活動時期】  
R2.4～R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

- ライフワーク：社会と自然環境の接点に関わること  
酒田市はまさにこれを実践できる場所
- 「再チャレンジしたい」という強い思い入れのある土地  
前職で全国を異動する中、酒田市でも勤務するも、体調を崩し、志半ばで異動した悔しい経験
- 高い自由度をもって活動できる環境  
酒田市の地域おこし協力隊はフリーミッション型なので、特定の枠にとらわれない自由な活動が可能

### 今後の抱負・任期後の目標

- 今後の抱負
- 地域の中で資源と経済が循環する“真の意味での里地里山の再興”を実現するため、地域の方と協力していきたい
- 任期後の目標
- 任期中に企画した事業の発展による起業
  - 「現代の百姓（百姓＝100の仕事がこなせる人）」を実践するのが理想のライフスタイル  
持続可能な暮らしのための知恵と技を駆使して自然や文化の活用による地域活性化を推進

### 活動内容

#### ●活動内容 地域の伝統文化／伝統技術の魅力に対する普及促進

- ①「庄内さしこマスク」の刺し方動画（Youtube）企画・制作・配信
- ②茅葺き古民家「旧阿部家」に関する事業  
葺き替え見学～資源／命の循環を考える～  
茅葺き屋根をめぐる命をテーマにした紙芝居の発表



#### ●活動内容 地域の自然環境の魅力に対する普及促進

- 地元の子どもをターゲットにイベントの企画・開催
- ①「いきもの発見塾」  
フィールド：夏のたんぼ、冬の森
  - ②「地域の宝：ため池のSOS展」  
里地里山におけるため池の役割と生態系を学ぶ展示・イベント



#### ●活動内容 地域の未利用資源の活用

- ①放置柿を利用した柿渋づくりとその6次産業化による「庄内SHIBUGAKI隊プロジェクト」の企画運営  
放置柿の収穫／柿渋の仕込みWS、柿渋染め／塗り体験WS、柿渋の用途アイデアコンテスト（予定）
- ②米作りとそれをめぐる資源（稲わら）の環境の復興、普及促進をめざす「稲笑循環プロジェクト」企画



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Facebookページ：酒田市地域おこし協力隊【平田地域拠点】

### 基本情報



【年齢】  
31歳  
【出身地】  
山形県飯豊町  
【転出元】  
愛知県豊田市  
【前職】  
自動車エンジニア  
【活動時期】  
R3.10～

### 協力隊に応募したきっかけ

私は、現在の活動地域である飯豊町の出身で、高校生の頃から「飯豊町の資源からエネルギーを作りたい」という想いをずっと持っていました。ただ、何も経験や能力がない中で戻ってきて何も興せないと考え、大学卒業後に民間へ就職し、仕事のやり方などを学んできました。6年目で徐々に仕事が楽しくなり、今が一番働けると感じ、飯豊町でエネルギー事業を立ち上げたいと決意し、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期後の目標としては、飯豊町の資源（特にバイオマス）を生かした発電設備を立ち上げたいと考えています。現在、再生可能エネルギーは大規模集中型で森林伐採や破壊も伴っているケースが多く、本当の意味で環境に良いエネルギーには認知されていない事業だと感じています。そこで、森林整備を中心として、その中で出た恵（間伐材や林地残材となるD材以下）を利用した小規模分散型の発電設備を立ち上げ、飯豊町の美しい森林を守り、発展させていく事業にしたいです。

### 活動内容

#### ●森林整備修行

週末を利用して、2週に1回の頻度で山に入り、森林整備のやり方を学んでいます。その中で持続可能な林業とは何か、どうすれば林業は持続可能な産業になるかを先輩の林業家の方々と話し、事業構築へFBしています。また、カーボンクレジットを使った新たな価値創造や仲間集め事業にも挑戦中。



#### ●事業構築・仲間集め@ローカルベンチャーラボ

ビジネススクール（ローカルベンチャーラボ）に参加し、地方で起業を目指す全国の人との意見交換や自分の事業案のブラッシュアップを実施しています。現在、飯豊町で興すプロジェクトで一緒に参画してもらうなど、仲間作りにも繋がっています。今後、全国で地方起業の輪を作っていきたい。



#### ●電力事業修行@おきたま新電力（株）

昨年立ち上がったおきたま新電力（株）にて、電力への理解を深めることを目的に、立ち上げ業務と新規再生可能エネルギー電源のポートフォリオ作成、新規事業の仕組みづくりなどを実施。今後、置賜地区で電力の地産地消100%を目指し、様々な人たちと協力して、推進力をもって、進めていきたい。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://iide-iju.com/report/>

### 基本情報



【年 齢】  
32歳  
【出身地】  
大阪府阪南市  
【転出元】  
神奈川県厚木市  
【前 職】  
アパレル  
【活動時期】  
R2.10～ R5.9  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

応募した当時は新型コロナウイルス感染症の拡大でこれからどんなことが起こるのか？全く予想もつかない状況でした。これまでアパレルブランドのディレクションやPRなどの仕事をしてきました。同じことではなく全く新しいこと。誰も知らない場所、何も無いところから何かをつくる。地方の魅力を全国へつなげていく。そんな挑戦をしてみたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域おこし協力隊として展開してきたWITH RIVERを事業化。「川」「自然」「町」「人」、商品を通じて美しいローカルを未来につなぐこと、「Keep Local Beautiful」をミッションにかかげた事業をスタートします。川などの自然環境改善につながる洗剤やシャンプーなどの商品を開発中。「ローカルから日本を解放する」をテーマに起業、長瀬を中心に全国の川があるローカルにWITH RIVERを展開します。

### 活動内容

#### ● WITH RIVER LOCAL TO CITY 120

長瀬から東京まで繋がる荒川をSUPでごみ拾いをしながら120キロ先の東京までダウンリバー。環境問題や川のゴミ問題を川の上から考える企画。川の冒険をまとめた映画と本を制作し、長瀬町と川の魅力を発信しました。



#### ● Good for Local

長瀬町に住む中学生と高校生を対象にラフティングなどの川遊びを無料プレゼント。地元の魅力を伝えるためにアウトドア事業者6社と、川のゴミ拾いを含むオリジナルメニューを開発し提供。2022年度は約30名に長瀬での川遊び体験をプレゼント。



#### ● ULTRA A47 リバークリーン&SUPレース

「たくさんの方が川で楽しむフェスティバル」を目指すSUPレースを企画。全国のプロ選手だけではなく、一般の方も参加できるラフティングリバークリーンを同時開催。大会開催には大手企業が協賛し、埼玉リバサポと長瀬町役場が協力。官民が連携したイベントを実現。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
yshimizu@pbbyunderclasshero.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://shinlocal.thebase.in/>      [https://www.instagram.com/shimi\\_\\_\\_chan/](https://www.instagram.com/shimi___chan/)

### 基本情報



【年齢】  
50歳  
【出身地】  
神奈川県 鎌倉市  
【転出元】  
東京都渋谷区  
【前職】  
マスコミ関連  
【活動時期】  
R3.12～

### 協力隊に応募したきっかけ

数年前に中部地方でサービスで提供されたジビエ料理を食べてから狩猟に興味を持ち、銃とわなの狩猟免許を取得しました。趣味として活動できるような環境を探していた時に、小学生の頃に遊びに来たことのあった鋸南町での募集情報を知り、前職の契約期間のタイミングと重なっていた事もあり、思い切って応募に至りました。

### 今後の抱負・任期後の目標

有害鳥獣対策を担当していますが、それ以前に「地域おこし協力隊」として、これまでの様々な経験を活かして、地域の活性化に貢献したいと思っています。任期後の目標は漠然としていますが、有害鳥獣対策だけではなく、町内で生活している方々のあらゆる困りごとを解決できるような役割を担っていける立場になれば良いなと考えています。

### 活動内容

#### ● 獣道を見つけてくりわなを設置

町民からの通報や相談を受けて、町役場の職員と検討の上、箱わなやくくりわなの設置を行います。現場を訪れ、有害獣の足跡や何かしらの形跡が残っていないのかを調べた上で、わなの設置位置を決めていきます。創意工夫が問われる作業です。



#### ● 有害獣の町内一斉捕獲に参加

町から任命された実施隊員が一堂に介して、有害獣が潜んでいる棲息地に、猟犬と共に入って「巻狩り」を実施します。猟犬が追い込んだイノシシ、シカ、キョンが立ち位置に逃げてくるのを待って、散弾銃で仕留めるという流れで行われます。



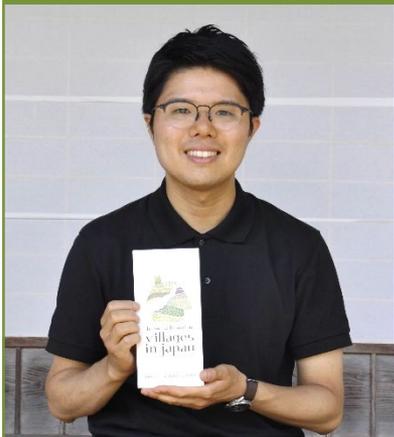
#### ● 大型の囲いわなで一網打尽

対象となる有害獣の中にニホンザルとアカゲザルが含まれます。ヒトと近い種族ですが、群れで行動するという特徴があります。それを活かした囲いわなを町有害鳥獣対策協議会が数台購入。町民の方々の協力で組み立て、餌付けから捕獲までの全てを行っています。



### 連絡先

## 基本情報



【年齢】  
32歳  
【出身地】  
東京都武蔵野市  
【転出元】  
東京都北区  
【前職】  
会社員（建設会社）  
【活動時期】  
R4.9.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

ゼネコンで都市開発の仕事に約7年間関わってきましたが、高層ビルをつくって・壊しての繰り返しに違和感を覚えていた時に、偶然、協力隊募集を見つけました。元々、原村には親戚の別荘があったこともあり、約30年間毎年訪問するほど馴染みがある原村での「日本で最も美しい村」の推進」のミッションに魅力を感じ、思い切って応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは、「村民全員（約8,000人）と顔馴染みになること」を目標に考えています。そして、最終的には、住民の方と私みたいな移住者が集まれるような場所をつくる等、前職で培った一級建築士の知識も活かしながら尽力していきたいと思っています。

## 活動内容

## ● 1. 「日本で最も美しい村連合」に係る活動の推進

原村を含む、全国61町村が加盟する「日本で最も美しい村連合」に係る活動の推進が、主なミッションです。登録地域資源である「八ヶ岳山麓に広がる豊かな自然と農地が調和した農村景観」「土蔵の鍍絵（こてえ）」「ぼろ織りとさき織りが共存する織物文化」の継続とさらなる発展に向けて、日々取り組んでいます。



## ● 2. 美しい村の外部PR・自治体間連携

東京・名古屋等で開催される「美しい村マルシェ」に参加し、原村製品の販売・PRを行っています。商品の選定、生産者さんとの交渉、販売促進までを一貫して担当しています。また、他の美しい村加盟町村の協力隊等と連携する機会を継続して設けており、定期的な情報交換やコラボ企画等を実施しています。



## ● 3. 美しい村に関連する拠点整備に向けた活動

美しい村としてのさらなるシティ・プロモーションを促進するためにも、美しい村をテーマとした拠点形成等も検討中です。例えば、地域資源である住民文化を発信するきっかけとして、住民と移住者が集まれる場所をつくる等、村内の空き家の発掘・改修等を契機として行えないうか、日々検討しています。



写真はイメージです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（電話番号）0266-75-0669 [原村役場 商工観光課 田舎暮らし推進係 宛]

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram : [https://www.instagram.com/haramura\\_nagano/](https://www.instagram.com/haramura_nagano/)  
Facebook : <https://www.facebook.com/haramura.chioko>

### 基本情報



【年齢】  
50歳  
【出身地】  
神奈川県横浜市  
【転出元】  
神奈川県川崎市  
【前職】  
フリーランス  
【活動時期】  
R2.8～ R5.8  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

地域振興、主に木質エネルギーの地産地消システム構築にかかる調査や計画策定、研究等に従事し、また趣味のトレランを通じて、かねてより森林の保全・活用への関心は高かった。コロナ禍の行動制限中、新常态において生活様式等が大きく変わる可能性を感じ、地方への移住を考えるに至った。そうした中、これまでの知見等を活かせるような本案件を見つけ、書類を送付し、派遣先の代表者らとオンラインでの意見交換等を通じて、森林の再生と資源活用に対する考え方が自分に近いと感じ、入隊を決意した。

### 今後の抱負・任期後の目標

派遣先企業で準備に携わった新規事業（薪炭事業）で、スタートアップ時の生産業務に携わりつつ、事業を軌道に乗せ、事業規模を拡大するための経営や営業にも関わることを見込んでいる。  
また、個人事業として、同社の従来から事業であるジビエ加工品を活用（低廉で仕入れ）するとともに、天城のクロモジ等の山野草木を活用したカフェ・バル事業の実施を構想しており、必要になる資格の取得や協力者とのネットワーク構築を進めている。

### 活動内容

#### ①二ホンジカの管理捕獲、及び屠体の資源化の強化

派遣先NPOが受託する県の二ホンジカ管理捕獲業務の捕獲（罾猟）に従事し、当該業務の安全強化策の提案と普及に努めている。また、駆除屠体の資源化率向上と、屠体の活用部位ごとの資源化にかかる商品開発、新規の販路開拓等に関与しており、特に赴任時に未利用だったシカも商品化し、資源化率はほぼ100%になった。



#### ②未利用人工林の天然生薪炭林への転換

派遣先NPOでは管理が不十分な人工用材林を、シカ防除をしながら薪炭林に転換し、薪生産する構想を持っている。そのため、他のメンバーに先駆けて最低限の林業技術の講習を受け、技術習得に努めた。しかし、NPOの計画する規模の森林管理は未定で、活用可能な狭小な森林の整備を進めている。



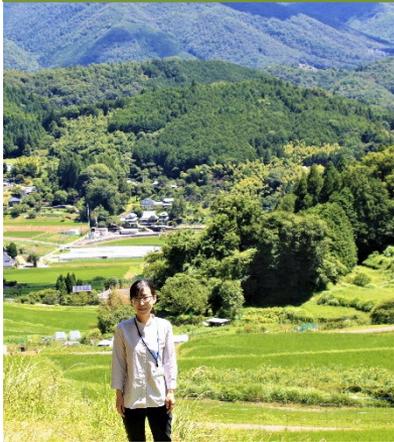
#### ③薪炭生産事業の計画づくりと実施に向けた準備

②が滞っているが、当面は原料に主に支障木等を用いた薪生産に、バイオ炭生産を付加した事業計画を作成するとともに、導入技術の選定、資金獲得（経産省補助金）等を支援し、さらに大学等との連携体制の構築を手掛けた。2022年内には、設備導入等の準備が整い、年度内に試運転等の準備を実施予定。



### 連絡先

### 基本情報



【年齢】  
40歳  
【出身地】  
和歌山県和歌山市  
【転出元】  
東京都多摩市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.7～

### 協力隊に応募したきっかけ

地方への移住を検討している中で、能勢町地域おこし協力隊の業務内容（環境教育）に興味をもったこと。

### 今後の抱負・任期後の目標

今年度検討を開始した薪ストーブ・薪事業について、関係者との調整を進め、継続して取り組むことのできる仕組みを構築したい。連携団体である、株式会社能勢・豊能まちづくりの地域内での認知度が低いいため、様々な媒体での情報発信を行う。地域住民に連携団体の取組について知ってもらい、取組への参加者が増えるようにしたい。

任期後に地域に住み続けるための仕事や住居について、引き続き検討する。

### 活動内容

#### ●省エネの普及啓発

連携する地域電力会社の地域サービスの一環として、省エネの普及啓発活動を行った。今夏は教育施設にすだれ等を寄付し、昨年度比-3%減に挑戦した。

また、グリーンカーテンの普及を図るべく、地域住民の協力の元、様々な条件でホップをグリーンカーテンに仕立てて栽培した。また、効果測定を行った。



#### ●森林資源の利活用の検討

再生可能エネルギーを軸としたまちづくりの一環として、森林資源を活用する、薪ストーブの普及と薪事業について検討した。地域の飲食店や住民への聞き取り調査を行った。薪事業については、今冬から材の買取を始め、2024年度本格市場参入を行うべく、検討している。



#### ●環境教育の企画・運営

未就学児とその保護者を対象とした、端材を活用した積み木作りの企画・運営を行った。10組の参加者に木の手触りを楽しみながら工作していただき、木製品を使うことが森林環境の保全に繋がることを伝えた。（欠席の2組には積み木と資料を配布）。

小学生を対象に、エコについて楽しみながら学んでもらうエコ縁日と木工体験の企画・準備を行った（コロナにより中止）。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（電話番号）072-734-3036（能勢町総務部総務課政策推進担当）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

（Instagram）<https://www.instagram.com/nose.chiikiokoshi/?hl=ja>

（FB）<https://www.facebook.com/profile.php?id=100072262427035>

### 基本情報



【年齢】  
52歳  
【出身地】  
東京都府中市  
【転出元】  
兵庫県伊丹市  
【前職】  
製造業  
【活動時期】  
R3.4～R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

2点あります。

1. いつか祖父の住んでいた愛媛へ帰ろうと思っていたこと
2. 令和2年の夏頃に偶然今治市広報を閲覧して募集を知ったこと

### 今後の抱負・任期後の目標

猪の捕獲を安全に実行できること。島内の害獣被害を減らすことを目指して地域貢献に努めながら島で暮らして生きたい。

### 活動内容

#### ●活動内容：島の歴史を探り暮らし方を学ぶ

昭和時代の島暮らしを聴いたり、最近の暮らし方(困っていると感じたこと・伯方らしい風景を眺めて居心地の良さを感じたこと)から自身の今後を考える



#### ●活動内容：有害鳥獣捕獲

伯方島での猪の捕獲の為に罠を仕掛けたり、捕獲個体の肉を食すことで島民被害の削減に協力している



#### ●活動内容：猪狩猟活動

現在生息する猪をターゲットとして島内の猪捕獲場所情報を取集中である。猟期に情報を基に実績を挙げることを目標に銃と罠の使い方を学習中である。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) i22589@imabari-city.jp (電話番号) 0897-72-1500

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
なし

### 基本情報



【年 齢】  
32歳  
【出身地】  
愛知県安城市  
【転出元】  
長野県松本市  
【前 職】  
大学研究員  
【活動時期】  
R4.8～

### 協力隊に応募したきっかけ

これまで培ってきた知識や経験を、雲仙地域に咲くミヤマキリシマや貴重な生物の保全活動に活用したくて応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域おこし協力隊在任中に、長期的に雲仙地域の環境保全に関わるための土台を作成し、卒業後に活動範囲を広げていきたい。

### 活動内容

#### ●ミヤマキリシマの保全活動と利活用

長崎大学や地域NPOと協力し、雲仙地域に生息するミヤマキリシマについて遺伝子解析を行い、原種等の保護活動を行う。また、ミヤマキリシマを観光資源として利用し、雲仙の活性化を目指す。



#### ●環境教育の実践

地域の子どもたちを対象にした環境教育を行い、貴重な自然環境を後世へつなぐ。地元小学生による生物調査や植樹活動により、地域の自然環境への理解につなげる。



### 連絡先

### 基本情報



【年齢】  
55歳  
【出身地】  
愛知県一宮市  
【転出元】  
神奈川県川崎市  
【前職】  
会社員・宮内庁  
【活動時期】  
R3.12～R6.11  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

私事にて、長崎国際大学に勤める「茶道学」の友人に毎年訪問して交流。その際、「日本一のそのぎ茶」や「歴史遺産」などの魅力がある一方で、全国認知がなされていないと聞き及んだ事がきっかけとなります。

「そのぎ茶は、日本一おいしさという強みがあるが、新規や富裕層マーケティングが弱い。人口減の課題を抱えている。」と聞き、民間で培ったスキルが役立つかと考え応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

写真化学・デジタル複写機製造業の広報経験に加え、宮内庁皇室写真の撮影業務実績やドローン操縦スキルを生かし、映像用いて感動と価値を伝える。

- ◆手法
  - ・Instagram/Facebookなどを効果的に活用する。
  - ・町内向け発信に加え、海外向けの発信も実施。  
→ 国内全国と海外へ伝わる外向け発信で伝播させる
- ◆任期後の目標
  - ・映像スキルを駆使し、町内外へ向けてビジネスする。

### 活動内容

#### ●特産「そのぎ茶」拡販と町の認知向上に資する活動

- \* 茶生産者の取組みを視察・お困り事への支援
  - ・若手茶園とSDGs専門家を繋ぎ、意見交換。
  - ・日本茶は欧米中等の高評価あり輸出好調。
- \* 競合との差別化策/肥料高騰状況を把握
  - ・大手伊藤園の宇治茶等との差別化をどう図るか？
  - ・SDGs面での認知向上について社長と意見交換。



#### ●環境を配慮しつつ交通利便性をプロモ

- \* 長崎県の中心にある東そのぎインターは、長崎空港/西九州新幹線を繋ぐHubです。
- \* 郷愁の「千綿駅」では素晴らしい夕陽と豪華列車が走り、日々人が訪れています。これらを国内外にプロモしています。



#### ●移住潜在層に向けNHK番組出演&制作

- \* 東彼杵町役場の職員と協力隊の森島、斎藤が、NHK番組「いいいじゅー」に出演。元職業カメラマン森島は、NHKさんへドローン映像等を提供し、ほぼ全国へ放送される活動を実施。  
※写真は放送時のものです→



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
長崎県 東彼杵町役場 総務課  
地域おこし協力隊 森島 剛 (ニックネーム: モリッシー)  
電話: 0957-46-1286  
E-mail: t.morishima@town.higashisonogi.lg.jp  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
[https://www.instagram.com/higashisonogi\\_official/?hl=ja](https://www.instagram.com/higashisonogi_official/?hl=ja)



### 基本情報



【年齢】  
33歳  
【出身地】  
福岡県三井郡太刀洗町  
【転出元】  
東京都足立区北千住町  
【前職】  
(株)ケンコーポレーション  
ソニー生命保険(株)  
【活動時期】  
R3.8～R6.7  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

協力隊に応募する前、旅を通してチャリティー活動をする中で、地方の魅力や課題を感じて、地方移住を考えたことがきっかけ。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後は、自ら有害鳥獣対策として実際に防護柵の設置や捕獲活動に従事すること。そして、有害鳥獣対策として町民を巻き込んだ連携や仕組みづくりをしていきたい。

また、任期後もこの分野に従事しながら生活できるような収益化を図りたい。

### 活動内容

#### ●有害捕獲（くくり罠）

設置した罠は基本的に毎日見回り、状況を確認。  
くくり罠で捕獲したシカを止め刺しする様子。



#### ●有害捕獲（箱わな）

箱わなで対象鳥獣を捕獲するためにエサとなる「米ぬか」を撒き誘導する。



#### ●小学校との交流

地元小学校で「みんなで里山を守っていこう」をテーマに授業



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
0966-82-2511（内）272（芦北町役場農林水産課内）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
『芦北町地域おこし協力隊の活動紹介FB』

### 基本情報



【年 齢】  
35歳  
【出身地】  
愛知県半田市  
【転出元】  
同上  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R2.10～

### 活動内容

#### ● 棚田地域における農作業、環境保全活動の支援

- ・ 棚田の草刈り
- ・ 石積みの棚田の維持補修
- ・ 遊休農地への作付け など

#### ● 棚田地域住民と外部人材の交流、対話の場づくり

- ・ 農作業ワークショップ等の棚田地域との交流人口創出を目的としたイベントの実施

#### ● 地域資源を活かした田舎暮らしのマネジメント

- ・ 棚田における活動の情報発信

### 協力隊に応募したきっかけ

友人が、指宿市で協力隊として活動していたので、何度も訪れたことがあり、いい所だなと感じていた矢先、協力隊の募集があったので応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

耕作放棄された田が少しでも再生し、美しい状態を維持することで、もっと多くの方々に棚田に来ていただき、共に活動する仲間を増やしていきたいです。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) nosei@city.ibusuki.jp  
(電話番号) 0993-22-2111 (内線714)  
(職場) 農政課

### 基本情報



【年 齢】  
33歳  
【出身地】  
大阪府能勢町  
【転出元】  
鹿児島県長島町  
【前 職】  
学生  
【活動時期】  
R2.8.1~R5.7.31  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

海や山の自然に恵まれた町で協力隊員として活動したく、スタンバイカンパニーのサイトから応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

先端企業との共同研究を進めており、学術雑誌や研究レポート、またはそれに類するものとしての発表予定である。調査研究という、これまでとは別の角度から住民の興味関心を高めることができる可能性がある。

任期終了後についても長島町に定住し、鳥獣害対策に関わり農作物等の被害をなくしていきたい。

### 活動内容

#### ●【活動概要】

捕獲に関する活動(狩猟免許の取得、罠設置の試行錯誤など)、ITを導入した野生動物に関する調査(gpsビーコンによる行動範囲の調査:現在進行中)、情報収集と発信(猟友会や、他地域のハンターとの交流、被害地の視察、広報誌・SNS・ラジオ生放送出演など)



#### ●現在の活動について感想

着任から1年で、猟友会や、他地域のハンターとの交流があり情報交換ができ、非常に充実した活動が出来ている。

また、町の職員さん、一緒に活動している協力隊員の協力もあり、今後の活動も円滑に進めていくことができると考える。

#### ●受講した研修

鳥獣被害対策コーディネーター育成研修  
鳥獣利活用技術研修会

### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

長島町役場地方創生課 0996-86-1101

### 基本情報



【年 齢】  
25歳  
【出身地】  
新潟県 三条市  
【転出元】  
新潟県 三条市  
【前 職】  
大学 学部生  
【活動時期】  
R4.4～R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

私はかねてより自然保護等の仕事・活動に興味があり、かつ学生時代の奄美旅行でその独特の自然に魅了され、「奄美の自然を守りたい」・「その素晴らしさを伝えたい」という思いがあった。加えて2021年7月に奄美群島が世界自然遺産に登録された事をきっかけに本格的に奄美での自然保護関連の仕事を探した所、大和村の地域おこし協力隊として自然保護に携わることができることを知り応募した。私は「奄美自然体験活動推進協議会」という奄美群島12市町村と鹿児島県、環境省から組織される協議会の事務局員として主に奄美野生生物保護センターで勤務しています。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後は刊行物の発行等を通して自然保護の啓発活動・魅力発信等はもちろんであるが、特に外来種駆除に力を入れて活動していきたいと考える。そして、私の任期終了後も地元の人々が中心になって外来種駆除活動を続けていける体制を作ることが第一目標である。

任期終了後は大学院へ行き、専門分野の研究に精力を注ぎたい。大学院修了後は夢であった中学校教員となり、地元の公教育に貢献したいと思う。

### 活動内容

#### ●刊行物の発行

奄美自然体験活動推進協議会では毎年「わきゃあまみ」という主に群島の小中学生を対象にし、奄美の自然や生きものの魅力を伝える目的で冊子を発行しています。わきゃあまみは子ども達はもちろん、観光客や島内の方からも人気が高いです。現在はそのバックナンバーの改訂、今年度分の作成準備等行っています。



#### ●奄美野生生物保護センター運営に関わる業務

出向先の奄美野生生物保護センターの日々の運営に関わる業務をしています。開館・閉館作業や来館者対応はもちろんのこと、展示水槽等の管理・運営も他のセンター職員と協力して行っています。



#### ●アマミノクロウサギのロードキル対策モニタリング調査・国立公園のセンサーカメラ管理等

村道の一部に設置したロードキル対策実証実験のモニタリング調査を実施しその効果検証を行う他、希少生物が生育・生息している場所にセンサーカメラを設置し盗採盗掘防止対策を行うことで、その保護に努めています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】環境省 奄美野生生物保護センター  
(メールアドレス) amami\_rabbit@public-yamato.jp  
(電話番号) 0997-55-8620

### 基本情報



【年 齢】  
32歳  
【出身地】  
岐阜県多治見市  
【転出元】  
岐阜県多治見市  
【前 職】  
ネイチャーガイド  
【活動時期】  
R4.4～ R6.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

竹富島へ観光で訪れた際、アイヤル浜でビーチクリーンをしていたときに竹富島財団の理事と話し、島での環境保全活動について聞き、年度内の地域おこし協力隊の募集に応募したもの。

### 今後の抱負・任期後の目標

竹富島での財団業務および環境保全活動の拡充。主にビーチクリーン、外来種の防除、ゴミ問題の改善および祭祀の供物となる島由来の作物の農事等を遂行するもの。また、任期後は財団業務の継続および島内の漂着ゴミに関わり、継続した環境保全に携わっていきたい所存。

### 活動内容

#### ●ビーチクリーン

島内の各浜に漂着するゴミの収集等に関わる業務。



#### ●島内の観光客由来のゴミ問題の解決

竹富港に設置するゴミ箱の分別作業および収集状況の調査に関わる業務。



#### ●竹富島の祭祀の供物となる作物の農事

島の古老に習い、祭祀の供物となる、アワ（粟）、島ピン（島にんにく）の作付けおよび畑の管理等に関わる業務。新規事業として竹富小中学校の児童、生徒へ教育目的で島由来の粟の育生を共に行うもの。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(竹富島地域自然資産財団Instagram)

[https://www.instagram.com/taketomijima\\_zaidan/](https://www.instagram.com/taketomijima_zaidan/)